

第100号 (No.100)

2026年6月26日

Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

目 次

〈理事会報告 (2026年3月15日)〉

■ 審議事項

I 第37回広島大学大会について

II 各委員会の活動報告

■ 報告事項

III 事務局報告

IV その他

〈事務局からのお知らせ〉

理事会報告（2026年3月15日）

出席者：石井理事、磯田理事、上地理事、上野理事、奥村理事、川地理事、木原理事、金馬理事、唐木理事、倉本理事、草原理事、黒田理事、子安理事、澤田理事、柴田理事、高橋理事、田村理事、中野理事、西岡理事、二宮理事、根津理事、樋口理事、松下代表理事、的場理事、森理事、吉田理事、香川大学附属高松小学校、磯崎哲夫会員（広島大学）（計28名）

事務局：竹川事務局長・理事、富士原理事、次橋幹事（計3名）

定例理事会が、2026年3月15日（日）9時30分から12時15分まで、Zoomを用いたウェブ会議形式で開催された。31名（うち理事29名、事務局3名 ※2名は理事をかねる、2026年度大会開催校より1名）の参加があった。

審議に先立ち、松下代表理事より、2月～3月に行われた国際交流委員会、研究委員会、広報・若手育成委員会の企画・運営および次回広島大学大会実行委員会の準備への感謝の言葉と、開会の挨拶が述べられた。

■ 審議事項

I 第37回広島大学大会について

はじめに、磯崎大会実行委員長より、挨拶と概要の説明が行われた。続いて吉田大会実行委員会事務局長より、資料に基づいて準備状況、当日の予定等についての報告が行われた。

大会1日目の開始時間は10時であるが、2日目の開始時間を今回は9時とすることで、終了時刻を早めていることが提案され、承認された。大会の発表形式について質問があり、吉田事務局長より、自由研究発表は全面対面、自主企画セッションは運営者がオンライン操作をするならば配信可能であることが説明された。大会当日のWi-Fi環境としてはeduroamが利用可能で、eduroamを利用できない大学の方にはゲスト用のWi-Fiも案内できることも説明された。

II 各委員会の活動報告

1. 学会賞委員会

木原副委員長より、資料に基づいて、広島大学大会における優秀発表賞の審査に関わる予定が説明された。ここで、広島大学大会で審査対象となる発表者の事前連絡までが今期の委員会業務となることも確認された。また、前回の理事会で、優秀発表賞の対象がこれまでの著作との重複があるか否かについて委員会で審査を行うよう求められた点について、重複がないことを確認したとの報告が行われた。

続いて磯田委員長より、研究奨励賞候補者 2 名の提案が行われ、別紙「学会賞 研究奨励賞審査結果報告書」に基づいて詳細な審査過程の報告が行われた。これに対し、松下代表理事より別紙中の評価に関わる表現について指摘があり、磯田委員長、的場委員の確認を行った結果、一部表現を改めることとされた。その後、委員会提案の 2 名について、研究奨励賞の授賞が承認された。研究奨励賞をすでに受賞した会員については、賞の趣旨に照らして、新たに審査対象としないことが提案された。また、これに関連した「優秀発表賞及び研究奨励賞に関する規程（1995 年 7 月 2 日制定）」および「優秀発表賞及び研究奨励賞細則（2023 年 11 月 4 日）」の改正案が提示され、承認された。

2. 紀要編集委員会

澤田委員長より、資料に基づいて、委員会の開催状況、学会紀要（第 35 号）の査読の状況と採択の最終結果、投稿論文以外の編集業務の報告が行われた。また、報告にあわせて、昨年度・今年度の紀要に関わる予定表（案）が提示された。

「編集規程」、「投稿要領」、「投稿にあたっての注意」、「原稿テンプレート」の改訂案が提示され、承認された。ただし、テンプレートについては、章と章の間には 1 行スペースを入れるように修正することとした。

松下代表理事より、投稿論文の公開に関することについては、どのようにすれば規程の変更が会員にしっかりと届くかを学会として考えていかなければならない、ということが提起された。上地理事からは、間に合うなら次回総会での提示をするなどして周知を図るべきだという提案がなされた。これに対し、改訂の趣旨について記した文書を紀要編集委員会で作成して会員に示すことが澤田委員長から提案された。草原副委員長より、今期の委員会における電子投稿の進展や規程の改訂などの任期中の成果が述べられるとともに、一方で不正投稿への対応やスケジュール管理（ガリレオとの協働）など、今後の委員会が引き継ぐことになりそうな検討課題についての提示があった。

3. 研究委員会

上地委員長より、資料に基づいて、春の研究集会「外国にルーツのある子どもへの支援」についての報告と、広島大学大会の二つの課題研究、「(1) 学校教育におけるテクノロジー活用の現状と課題」(仮)の内容と登壇者、および「(2) 人口減少社会における課題に学校カリキュラムは貢献しうるのか(仮)」の内容と登壇者候補の報告が行われた。

課題研究(2)の残る一人の登壇者については、決定次第事務局に報告をし、理事会にてメール審議を行うことが確認された。研究委員会の課題研究は、(1)が大会 1 日目の課題研究 I に、(2)が 2 日目の課題研究 III の枠になることが確認された。

4. 広報・若手育成委員会

唐木委員長より、資料に基づいて、秋のセミナー(11月29日)、第5回若手育成セミナー(2

月 15 日) の報告と、次回大会の課題研究についての説明が行われた。

広島大学大会の課題研究については、テーマを「“ことば”とカリキュラム：体験や生活を基とした授業・学校づくり」とし、登壇者のスケジュールの都合上、大会 2 日目の課題研究Ⅳの枠になることが確認された。

また、金馬理事より、学習指導要領改訂について、カリキュラム学会としての立場から発信をしていくべきではないか、という提案がなされた。これに対し、松下代表理事より、広島大学大会においても、指導要領改訂の議論にも関わる内容が学問的に扱われていることが説明された。本件については、中教審答申が出た後、次期理事会のなかで意見を中教審に届けるかどうかも含めて検討をしていくこととされた。

■ 報告事項

Ⅲ 事務局報告

竹川事務局長より、資料に基づいて、会員現況、会費納入率、入大会の状況、寄贈図書、会計等について報告が行われた。とくに理事選挙・代表理事選挙日程については、3 月 16 日公示、4 月 22 日 17 時投票締め切り、大会 1 日目の 6 月 20 日に新理事会が行われること。オンライン投票だけでなく、希望者は郵送投票も可能であることが説明された。

松下代表理事より、これまでの大会実施校と会員数の資料をもとに、次回大会校についての候補の例が挙げられ、協力が呼びかけられた。

Ⅳ その他

とくになし

事務局からのお知らせ

1. 会員現況概要 (2026年2月26日時点)

■会員総数 703名 (一般会員 615名、学生会員 82名、団体会員 6名)

※連絡先不明者 1名、未納退会希望者 7名、会員一時資格停止者 23名を含む。

(2025年3月理事会報告：会員総数 707名 (一般会員 617名、学生会員 84名、団体会員 6名))

■会費納入率

2025年度：完納 625名 未納 78名 計 703名 88.9% (切り捨て)

※連絡先不明者 1名、未納退会希望者 7名、会員一時資格停止者 23名を含む。

(※2025年3月理事会報告：完納 614名 未納 93名 計 707名 86.8% (切り捨て))

■新規入会者 (2025年11月12日～2026年2月26日) 5名

	入会年月日	氏名	所属	会員種別	推薦者
1	2025/11/18	二宮 淳	品川区立浜川小学校	正会員	安藤福光
2	2025/11/20	楠本正義	札幌市立あいの里東中学校	正会員	事務局
3	2025/12/02	佐藤 真由子	広島大学大学院	学生会員	吉田成章
4	2025/12/21	栗田 季代	大津市立唐崎小学校	正会員	安藤福光
5	2026/01/27	山本 一海	福井県立奥越高原青少年自然の家	正会員	八田幸恵

■退会者 (2025年11月12日～2026年2月26日) 1名

	退会日	会員名	所属	会員種別
1	2026/02/17	豊田 ひさき	中部大学	正会員

2. 寄贈図書等一覧 (2025年11月11日～2026年3月5日到着分)

著者名	タイトル	出版社等	発行日	受領日
森本 和寿	アメリカにおけるパーソナル・ライティングの展開：表現主義の理論と実践	勁草書房	2025.12.20	2025.12.25
石田 智敬	学習評価論における質的判断アプローチの展開：ロイス・サドラー学識の解剖と再構成	京都大学学術出版会	2025.3.31	2026.1.9
浜田 博文	教職エンパワーメント	東洋館出版社	2025.12.17	2026.1.26

石井 英真	カリキュラム・オーナーシップ： 教育課程改革の設計図	教育開発 研究所	2026.1.30	2026.1.28
宮本英征編著	漸進型歴史学習論のデザイン研 究：学習者主体の歴史学習論の構 築にむけて	風間書房	2026.3.10	2026.3.5

3. 会計途中報告

日本カリキュラム学会
第36回大会年度（2025年度）中間報告書
（2025年4月1日～2026年1月31日）

収入の部

項目	予算額（円）	実績（円）	
学会年会費	5,000,000	4,800,000	
入会金	80,000	62,000	
学会誌代・雑収入・利子等	30,000	31,658	
第36回大会収入	1,146,000	1,755,600	
前年度繰越金	12,190,629	12,190,629	当期収入
合計	18,446,629	18,839,887	6,649,258

支出の部

項目	予算額（円）	実績（円）	
第36回大会支出	1,810,000	1,983,655	
第34号紀要刊行費（含む発送費、J-STAGE掲載経費）	700,000	657,033	
学会賞費（研究奨励賞および優秀発表賞）	60,000	60,000	
会合費（交通費他）	300,000	55,080	
事務局経費	200,000	160,624	
事務局外部委託費	2,000,000	1,362,015	
財）日本学術協力財団賛助会費	50,000	0	
教育関連学会連絡協議会会費	5,000	5,000	
各種委員会経費			
紀要編集委員会	100,000	4,200	
国際交流委員会	100,000	0	
研究委員会	300,000	81,578	
広報・若手育成委員会	300,000	107,805	
学会賞委員会	100,000	25,230	
(小計)	900,000	218,813	
学会ホームページ及び学会システム更新	300,000	106,700	
電子投稿システムの運用経費	440,000	128,700	
団体会員勧誘活動	120,000	85,800	
予備費	200,000	0	当期支出
次年度繰越金	11,361,629	14,016,467	4,823,420
合計	18,446,629	18,839,887	当期収支差額
(次年度繰越金のうち、1,000,000円は40周年記念事業積立金に充当)			1,825,838

4. 令和8年度（2026年度）分会費納入のお願い

今年度分の年会費が未納の会員の方は、納入をお願い申し上げます。前年度（2025年度）分までの年会費が未納の会員の方におかれましては、未納分の年会費の納入もあわせてお願い申し上げます。

会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、ご遠慮なく（株）ガリレオ・日本カリキュラム学会会員窓口までお問い合わせください。

（年会費：一般 8,000 円、学生 5,000 円、団体 10,000 円）

5. 会員情報更新のお願い

学会ホームページから会員情報の更新を随時お願いいたします。学会ホームページでは、会員専用ページとして「会員名簿検索システム」を導入しています。会員相互の連絡や情報交換のためのシステムですので、所属先の情報については可能な範囲で公開していただきますようお願いいたします。

また、学生としての所属がなくなった場合は、一般会員への変更をお願いいたします（こちらは学会ホームページの「マイページ」の変更と併せて学会事務局までご連絡ください。

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2 丁目 39-2-401

（株）ガリレオ学会業務情報化センター内

TEL 03-5981-9824 FAX 03-5981-9852 ※電話受付 平日 11:00～16:00

E-mail : g050jscs-support@ml.gakkai.ne.jp

【上記以外の学会運営に関する問い合わせ先】

〒154-0004

東京都世田谷区太子堂 1-7-57 昭和女子大学全学共通教育センター 緩利誠気付

日本カリキュラム学会事務局

E-mail : jscsstaff@gmail.com

【学会ホームページ】

<https://jscs-info.jp/>